

通って・訪問して・泊まれる24時間365日 生活丸ごと支援

星が丘ホーム 通信



- 発行: 2025. 3. 10 NPO「福祉ネット星が丘」
- 連絡先: 神戸市垂水区星が丘 3 丁目 2-23 電話・FAX 078-708-3244
- e-mail: hosi3223@circus.ocn.ne.jp
- URL: https://peraichi.com/landing_pages/view/hoshigaokahome

地域の皆様に支えられ・助けられ・27 年目になりました。

散歩中の利用者様の救急救命に感謝！

寒暖の差の厳しい中、緩やかに季節は春を迎えています。星が丘ホームの日常は窓の中からでは分かりづらく、利用者様には移ろう季節を体感できません。だからこそ顔色・体調を鑑みて、近隣の散歩は積極的に取り組みたいのです。

先日の事です。4時前のころでしょうか、子どもらも学校から足取り軽く帰宅中利用者からの「おかえりなさい」の声に、元気よく「ただいま〜！」と返してくれます。跳ねるような足取りに、笑みを浮かべ「子どもは宝やなあ〜」と。

紅白の梅が玄関で迎えてくれるお宅では、しばし立ち止まり、「庭木の手入れは、大変でしょうが、季節が分る」「花を大切にするのは、心に余裕がある」と。毎回、利用者共々ご近所を、楽しく散策させていただいています。

目標の突き当りのお家の、壁タッチをして、戻りの半分に差し掛かったころ、やや足取りが遅くなり、お得意の「赤いリンゴの唄」を歌いながら歩行続行！

「歩行器で歩きませんか？」と声掛けしましたが「自分の足で歩きたいんだ！」と。「明日歩くためにも文明の利器は活用すべし」というと初めて承諾されました。通りがかりの方が、肩をお借りしてくださり、やっと歩行器を使ってもらえました。あと数メートルの所で、突然歩行のスイッチが切れたかのようにくずれ落ちました。

救急隊を要請し、近隣のマーケットにある AED をお借りし、心臓マッサージを開始。

急遽、駆けつけてくれた方は、救急隊到着までの間、懸命にマッサージを続行して下さいました。救急隊に運ばれ、病院にて治療を行うも、残念ながら亡くなられました！

地域の皆様には、感謝しかありません。今後ともお見守りください。

特定非営利活動法人福祉ネット星が丘 理事長 徳岡八重子（介護支援専門員）

カサカサ、粉ふき肌に

年齢と共に足りなくなってくるのが体内の水分量

その理由は様々です。喉の渇きに鈍くなる。トイレが近くなるから控えている。方もおられると思います。実は肌や呼吸から蒸発もなされているのでご自身が思っている以上に水分が足りていない。という事になります。

当然そうなると体内の水分は減少し、お肌の水分量も蓄える力もなくなり減ってきます。

いわゆる乾燥肌です。乾燥が進むと表面層が剥がれ落ちるから服を脱いだ時ふわーっと舞い散る粉ふき状態。となると外部からの刺激、病原体の出入り口になりやすいと言われています。

その軽減に入浴上がりやナイトケアにお肌の状態をベストな状態に持っていくアロマケアを行っています。

ここへ来られた時は粉ふき状態だったお肌も毎日のナイトケアですべすべに。

ここに居られるご利用様は20歳スタッフも唸るほどのみずみずしさとすべすべ肌。

先日、入院なさったご利用さま。病院では「とてもいいケアなさっていますね」と看護婦さんに褒められるなどこれからの星が丘ホームのケアの自信に繋がりました。

気になる方はお試しにお家でも使えるお試しサイズをそれぞれに合わせたアロマクリームお作りいたします。

☆フェミニンアロマについて

※紙パンツの弊害を軽減するため

9種類の精油をブレンドしたフェミニンアロマを使用しています。

興味のある方はどうぞご連絡くださいませ。

星が丘ホームではスタッフが自身の体調管理

利用者さまの体調管理のツールに自然の植物の力を取り入れています。

癒しや香りだけを楽しむだけでなく

健康にフォーカスして作られたエッセンシャルオイルをはじめ

口から入るもの、身に着けるもの全てにこだわったものを使用しています。



☆ 緊急子ども支援シェアハウス開設のため ご協力のお願い

阪神・淡路大震災から30年目を迎えました。私たちはより切実な介護支援を痛感し、多くの皆様方の支援により星が丘ホームを24時間365日運営し、26年を経過しました。障がいの種別・世代を超え、ケアを必要とされている方に必要なサービスを制度のあるなしにかかわらずこの間実践を積み上げてきました。互いに助け合いながら地域で生き抜く！」を支援する場として確立を目指しています。是非とも、物件の提供及び、ご寄付の重ね重ねのお願いをいたします。

介護報酬の減少の中で、経営の危機もありましたが、皆様のご協力で乗り越えつつあります。今回、私たちNPOの理念として、所有にこだわらず、有効活用を目指し、地域の課題の空き家問題の解決と、虐待児童や、養護施設を卒業される子どもたち達の安心拠点づくりの、プロジェクトを立ち上げます。第1ホームの権利を一株オーナーとして、募っていきたいと計画しています。震災記念館にも15mの擁壁の落下の状況が掲示されています。

振込口座 ゆうちょ銀行 14300-90413981

星が丘ホーム 春のミニ見に遠足



お世話になりました。
@明石ほんまち三白館
非日常な世界を味わいました。



男形と女形
同じ演者さんがしているとは思えない
雄々しさと美しさ

3月に入り陽気な日もあれば寒さ戻る日もありますが
星が丘ホームではミニ見に遠足
大人の遠足にいいました。

明石ほんまち三白館

大衆演劇、観劇

今、NHKでしている「べらぼう」に出てきそうな
江戸っ子喋りのお芝居に

きらびやかな衣装

久しぶりに観劇なさった方もおられ

あっという間の3時間

楽しんでおられました。

三白館の皆様
演者の皆様
素敵な時間を
ありがとうございました。



三白館を出るときには
玄関で演者さんが
お見送り挨拶に見えられ
一緒にパチリ

この様子は
YouTubeで
ご覧いただけます。



YouTube

「星が丘ホームと
八重ママ」

で検索を、
ユーチューブで
日々の過ごしを
お届けしております。